



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 理研コランダム株式会社
 コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂爪 康一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 順
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-596-4411
 平成25年9月17日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 2,293 | △4.5 | 52 | 67.8 | 103 | 42.2 | 70 | 18.9 |
| 24年12月期第2四半期 | 2,401 | △34.3 | 31 | △82.9 | 72 | △66.2 | 59 | △50.2 |

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 253百万円 (177.2%) 24年12月期第2四半期 91百万円 (△4.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期第2四半期 | 7.56 | — |
| 24年12月期第2四半期 | 6.35 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 6,078 | 4,143 | 68.2 |
| 24年12月期 | 5,820 | 3,918 | 67.3 |

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 4,143百万円 24年12月期 3,918百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 25年12月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 25年12月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,750 | 1.2 | 133 | 335.3 | 213 | 68.1 | 138 | 45.8 | 14.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 25年12月期2Q | 10,000,000 株 | 24年12月期 | 10,000,000 株 |
| 25年12月期2Q | 708,784 株 | 24年12月期 | 707,937 株 |
| 25年12月期2Q | 9,291,522 株 | 24年12月期2Q | 9,293,663 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) セグメント情報等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・経済政策の効果や輸出環境の好転等を背景に、景況感到穏やかな改善の動きがみられたものの、急激な円安が輸入原材料価格の上昇や電力料金の値上げ等に波及し、実体経済が回復したと感じるまでには至っておりません。

このような状況下、当社グループの売上については、下げ止まりつつあるものの、主要事業である研磨布紙等製造販売事業の減少を主な要因として、減収となりました。

一方、利益面においては、効率化の一層の推進やセールスマックス等により事業採算性は向上し、増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,293,228千円(前年同期比4.5%減)、営業利益51,622千円(前年同期比67.8%増)、経常利益103,034千円(前年同期比42.2%増)、また当四半期の純利益は70,200千円(前年同期比18.9%増)となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

数年前までの牽引役であった国内ソーラ加工業界向けについては、世界的な供給過剰等による低迷状態から脱したとは言い切れない状況のまま推移しましたが、その他の国内向けについては前年同期比増収となりました。

また、海外向けは、円安寄与はあったものの、新興国需要の伸び悩み等から減収となりました。

このため、売上高全体で前年同期を下回り1,870,107千円(前年同期比3.6%減)となりました。

なお、営業利益は採算性重視の営業展開により8,029千円(前年同期は営業損失5,063千円)となりました。

(OA器材部材等製造販売事業)

当社グループは、複写機、ATM、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

当第2四半期連結累計期間については、新興国の成長鈍化による在庫調整の影響を受け、厳しい環境下で推移いたしました。

この結果、売上高は261,121千円(前年同期比12.7%減)となり、営業利益は29,369千円(前年同期比14.6%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

株式会社ダイエーに賃貸しております理研神谷ビルの賃貸収入による売上高は162,000千円(前年同期と同額)、営業利益は128,057千円(前年同期比2.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<財政状態>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ257,384千円増加し、6,077,735千円になりました。これは主に、円安による為替換算で生じた持分法適用関連会社の持分相当額の増加により関係会社出資金が129,326千円増加したこと、投資有価証券の時価評価額の増加等により投資その他の資産のその他が109,073千円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ32,067千円増加し、1,934,810千円になりました。これは主に、約定返済が進んだことにより、借入金61,134千円減少しましたが、リース資産の取得により、その他に含めているリース債務が42,166千円増加したことと株価の回復により投資有価証券の評価換え益等に係る繰延税金負債が41,740千円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ225,317千円増加し、4,142,925千円になりました。

〈キャッシュ・フローの状況〉

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて22,618千円（5.0%）増加し、471,284千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、176,411千円（前年同期は320,354千円の獲得）となりました。

資金増加の要因としては、税金等調整前四半期純利益の計上102,976千円、仕入債務の増加26,227千円、非資金取引である減価償却費81,372千円が主なものであります。

一方、資金減少の要因としては、非資金取引である持分法による投資利益32,415千円が主なものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、39,503千円（前年同期は80,427千円の支出）となりました。

資金減少の要因としては、有形固定資産の取得による支出37,618千円が主なものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、123,219千円（前年同期は19,020千円の調達）となりました。

資金増加の要因としては、長期借入金の増加150,000千円が主なものです。一方、資金減少の要因としては、短期借入金の純減60,000千円、長期借入金の返済による支出151,134千円、社債の償還による支出27,800千円、配当金の支払額27,579千円が主なものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年8月2日に公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、引き続き情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

また、今後も全社一丸となって業容拡大に向け、新製品、新市場の開発等に全力を挙げて取り組んでまいり所存であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（i）棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

（ii）繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 538,666 | 561,284 |
| 受取手形及び売掛金 | 819,698 | 839,683 |
| 商品及び製品 | 698,399 | 718,759 |
| 仕掛品 | 585,129 | 548,638 |
| 原材料及び貯蔵品 | 206,002 | 224,056 |
| その他 | 129,870 | 114,171 |
| 貸倒引当金 | △11,188 | △11,385 |
| 流動資産合計 | 2,966,576 | 2,995,206 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,488,964 | 3,490,541 |
| 減価償却累計額 | △2,505,484 | △2,535,414 |
| 建物及び構築物(純額) | 983,480 | 955,127 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,661,503 | 1,675,683 |
| 減価償却累計額 | △1,444,228 | △1,474,977 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 217,275 | 200,706 |
| その他 | 735,446 | 811,097 |
| 減価償却累計額 | △356,202 | △378,001 |
| その他(純額) | 379,244 | 433,096 |
| 有形固定資産合計 | 1,579,999 | 1,588,929 |
| 無形固定資産 | 37,280 | 37,305 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社出資金 | 733,621 | 862,947 |
| その他 | 505,225 | 614,298 |
| 貸倒引当金 | △2,350 | △20,950 |
| 投資その他の資産合計 | 1,236,496 | 1,456,295 |
| 固定資産合計 | 2,853,775 | 3,082,529 |
| 資産合計 | 5,820,351 | 6,077,735 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 689,182 | 705,626 |
| 短期借入金 | 60,000 | — |
| 1年内償還予定の社債 | 111,200 | 111,200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 304,268 | 298,164 |
| 未払法人税等 | — | 22,300 |
| その他 | 148,703 | 176,849 |
| 流動負債合計 | 1,313,353 | 1,314,139 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 55,400 | 27,600 |
| 長期借入金 | 216,830 | 221,800 |
| 修繕引当金 | 54,020 | 54,563 |
| 退職給付引当金 | 60,587 | 32,539 |
| 役員退職慰労引当金 | 108,738 | 116,764 |
| 長期預り金 | 50,000 | 50,000 |
| 資産除去債務 | 8,692 | 8,780 |
| その他 | 35,123 | 108,625 |
| 固定負債合計 | 589,390 | 620,671 |
| 負債合計 | 1,902,743 | 1,934,810 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 500,000 | 500,000 |
| 資本剰余金 | 98,753 | 98,753 |
| 利益剰余金 | 3,445,431 | 3,487,755 |
| 自己株式 | △134,007 | △134,144 |
| 株主資本合計 | 3,910,177 | 3,952,364 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △8,324 | 53,956 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5,338 | 892 |
| 為替換算調整勘定 | 10,417 | 135,713 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,431 | 190,561 |
| 純資産合計 | 3,917,608 | 4,142,925 |
| 負債純資産合計 | 5,820,351 | 6,077,735 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,400,590 | 2,293,228 |
| 売上原価 | 1,820,863 | 1,711,446 |
| 売上総利益 | 579,727 | 581,782 |
| 販売費及び一般管理費 | 548,964 | 530,160 |
| 営業利益 | 30,763 | 51,622 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 12,997 | 11,333 |
| 持分法による投資利益 | 34,199 | 32,415 |
| 為替差益 | 3,696 | 10,618 |
| 助成金収入 | — | 5,470 |
| その他 | 7,147 | 5,351 |
| 営業外収益合計 | 58,039 | 65,187 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,665 | 5,257 |
| 手形売却損 | 4,006 | 3,019 |
| 売上割引 | 5,645 | 5,432 |
| その他 | 35 | 67 |
| 営業外費用合計 | 16,351 | 13,775 |
| 経常利益 | 72,451 | 103,034 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 279 | — |
| 特別利益合計 | 279 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 58 |
| 固定資産除却損 | 23 | — |
| 特別損失合計 | 23 | 58 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 72,707 | 102,976 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,591 | 20,224 |
| 法人税等調整額 | 1,098 | 12,552 |
| 法人税等合計 | 13,689 | 32,776 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 59,018 | 70,200 |
| 四半期純利益 | 59,018 | 70,200 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 59,018 | 70,200 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,440 | 62,281 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,036 | △4,446 |
| 為替換算調整勘定 | 932 | 13,448 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 8,040 | 111,848 |
| その他の包括利益合計 | 32,376 | 183,131 |
| 四半期包括利益 | 91,394 | 253,331 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 91,394 | 253,331 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 72,707 | 102,976 |
| 減価償却費 | 87,796 | 81,372 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △16,187 | △28,048 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 7,450 | 8,025 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 5,378 | 18,797 |
| 修繕引当金の増減額 (△は減少) | 3,683 | 543 |
| 受取利息及び受取配当金 | △13,358 | △11,466 |
| 受取商標使用料 | △3,767 | △4,061 |
| 支払利息 | 10,671 | 8,276 |
| 為替差損益 (△は益) | 397 | △933 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △34,199 | △32,415 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △279 | 58 |
| 固定資産除却損 | 23 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 57,682 | △10,241 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 112,558 | 4,486 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 29,072 | 26,227 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | △92 | △18,538 |
| その他 | 8,069 | 12,435 |
| 小計 | 327,604 | 157,493 |
| 利息及び配当金の受取額 | 13,384 | 11,297 |
| 利息の支払額 | △10,905 | △8,186 |
| 商標使用料の受取額 | 2,507 | 4,109 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △12,236 | 11,698 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 320,354 | 176,411 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △80,278 | △37,618 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 420 | 92 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,424 | △941 |
| 貸付けによる支出 | △600 | △2,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,455 | 964 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △80,427 | △39,503 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △106,000 | △60,000 |
| 長期借入れによる収入 | 300,000 | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △142,445 | △151,134 |
| 社債の償還による支出 | — | △27,800 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △137 |
| 配当金の支払額 | △27,636 | △27,579 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △4,899 | △6,569 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 19,020 | △123,219 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 215 | 8,929 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 259,162 | 22,618 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 287,796 | 448,666 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 546,958 | 471,284 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|-------------------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 研磨布紙等 製造販売事業 | OA器材部材等 製造販売事業 | 不動産 賃貸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,939,619 | 298,971 | 162,000 | 2,400,590 | — | 2,400,590 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,939,619 | 298,971 | 162,000 | 2,400,590 | — | 2,400,590 |
| セグメント利益又は損失(△) | △5,063 | 34,378 | 124,772 | 154,087 | △123,324 | 30,763 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,324千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|-------------------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 研磨布紙等 製造販売事業 | OA器材部材等 製造販売事業 | 不動産 賃貸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,870,107 | 261,121 | 162,000 | 2,293,228 | — | 2,293,228 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,870,107 | 261,121 | 162,000 | 2,293,228 | — | 2,293,228 |
| セグメント利益 | 8,029 | 29,369 | 128,057 | 165,455 | △113,833 | 51,622 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△113,833千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。